

Hi

平成29年7月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

かちあい

夏
第137号

責任者 坂田 英夫 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 3951-9941 Fax. 3951-9310



傘踊り



舞踊集団 菊の会

喜響太鼓

落合第二地域センター
第十一回開館記念イベント

6月17日(土)・18日(日)

落合第二地域センター

第十一回開館記念イベント



落合第二地区民生委員・児童委員協議会

落合第二地区協議会

新婦人けやき班絵手紙

フラワー みちの会



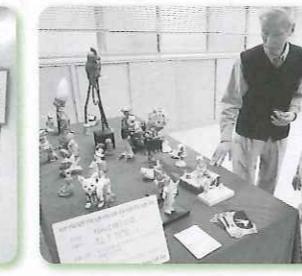
まくらめの会



真墨会



絵画くらぶ おちあい



ねんど細工の会



落合保健センター



新宿区明るい選挙推進協議会(落合第二地区)



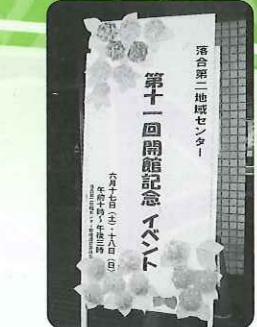
薰風句会



けやき荘 レクの会



梅雨入り後の晴れ間をぬつて、六月十七日（土）、十八日（日）に第十一回開館記念イベントが開催されました。初日は三階多目的ホールで吉住新宿区長を始め多数の来賓を迎えて第一部の式典、第二部は舞踊集団菊の会による、解説付きの「御祝い民謡集」、和太鼓演奏の「喜響太鼓」、そして「阿波踊り」が披露されました。「阿波踊り」の最後は来場者も参加しての輪踊りとなり大いに盛り上りました。参加協力団体が二日間にわたり、展示コーナーや体験コーナーで日頃の成果を発表。十八日は行政コーナーが開催されました。二日間で昨年を上回る延べ七百十七人の来場がありました。



お花くらぶ



茶の湯いけ花教室



エビス絵画



葛ヶ谷公園センター地域猫班



コミュニティ「おちあいあれこれ」



行政相談委員会



戸塚警察署



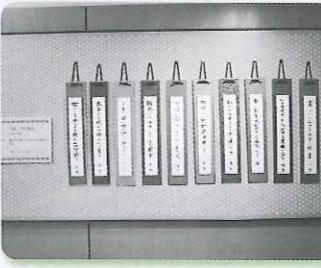
新宿消防署落合出張所



交通対策課



シルバー人材センター落合第二地区班



川柳 けやき会



ボーイスカウト新宿第一団



新宿区更生保護女性会

お詫び

おちあい立春第135・136合併号に誤記がありました。表紙上方、平成28年2月1日発行となつており、正しくは平成29年2月1日発行です。訂正し、お詫び申し上げます。

30年	29年	7月1日(土) 七夕コンサート	9月10日(日) 料理教室	10月7日(土) カラオケを楽しむ会	11月12日(日) センターまつり	12月9日(土) 手芸教室	1月13日(土) 新春日本の遊び	2月3日(土) カラオケを楽しむ会	3月3日(土) 文化講演会
お詫び									

新任落合第二地域センター事務局長紹介

地域センターからのお知らせ

五月より佐藤由基男事務局長が就任しました。

地域センター集会室等の予約をインターネットで行つた場合は、インターネットでキャンセルできるようになります。取消しできるのは、利用日の七日前までです。利用料金のお支払い後は、インターネットで取消できません。詳しくは事務局までお問い合わせください。

★落語 金原亭馬の助師匠

三月四日（土）の文化講演会は、金原亭馬の助師匠をお招きして、落語を鑑賞しました。

落語二題の間の余興では「百面相」が披露されました。羽織や座布団・手拭い・扇子などの小道具を使つた恵比寿様、大黒様、花咲か爺さん、分福茶釜の狸の瞬間芸に拍手喝采でした。マイクなしの落語に百三十八人が聴き入り、芸の力を強く感じました。

二月四日（土）、春のカラオケを楽しむ会が出演者二十八名の参加で行われました。耳慣れな人気の定番曲はもちろん、初めて聴く曲が毎回出てくるのには驚きです。

★カラオケを楽しむ会

二月四日（土）、春のカラオケを楽しむ会が出演者二十八名の参加で行われました。耳慣れな人気の定番曲はもちろん、初めて聴く曲が毎回出てくるのには驚きです。

◇光が丘は「グラントハイツ」跡地

都営大江戸線が延伸されるといふ。昨年の交通政策審議会では、放射部を大泉学園町まで延伸し、新座を通ってJR武藏野線の東所沢駅につなげるとしている。

光が丘駅の先は、仮称で「土支田駅」「大泉町駅」「大泉学園町駅」。誘致に熱心なのは新座市で、四ヘクタール(=4万平米)の土地を車両基地として無償提供すると公表した。現在の6の字運転を8の字にして世田谷区まで南下し、都庁前駅に戻る構想もあつたらしい。この場合、埼玉県には延伸しないのか、どこに駅ができるのかは、計画にならなかつたのでわからない。

大江戸線は一九八二(昭和五十七年)、都が十ヶ年計画で建設を決めたもので、全線開通は二〇〇〇(平成十二)年だ。環状部だけではないのは、そもそも光が丘にあつた飛行場跡地で戦後GHQに接収されアメリカ空軍の家族宿舎となつた「グラントハイツ」の再開発に端を発しているからだ。都内最後といわれる大規模団地のためには、交通網を整備する必要があつたのである。

一二八四世帯が住んでいたというグラントハイツには、ヘリポート、学校、教会、診療所、消防署、プールやゴルフ練習場などがあり、多くの日本人も使用人として働いた。住宅は芝生の敷地に白い平屋か二階建て、そして車を所有していた一敗戦から一九七三(昭和四十八)年の全面返還まで、そんなに遠い昔ではない練馬区にアメリカがあったことは意外と知られていない。

『ワシントンハイツ GHQが東京に刻んだ戦後』(秋尾沙戸子)

西落合には「猫寺」といわれる「自性院」がある。門前の石で掘られた猫を見た方は多いはずである。現在の猫は、実は二代目のこと。初代の猫はブロンズの猫でその作者は画家で彫刻家の河村目呂一(メロジ)という。その河村とその妻・すの子を知っている人が上落合二丁目に住んでいるので、お話を伺い河村夫妻の素顔を聞いてみた。その方は吉本滉子さん。以前に、吉本さんは本誌「おちあい25号」で、郷土雑のコレクターとして紹介したこともある。

その前に、河村目呂一と自性院について。河村目呂一の本名・弘。明治十九年岐阜県生まれ。現在の東京芸大の彫塑科を卒業。レート化粧料本舗という会社の圖案部に入社。その後から猫好きで、「猫珍奇林(みょうちきりん)」と自称していた。珍しい招き猫の置物の収集家としてマスコミに取り上げられたこともあるという。目呂二は、反アカデミズムの彫刻家団体「構造社」に所属し、展覧会に猫の彫刻作品を多く発表。昭和八年

著によれば、子どもたちは成増(練馬)にあったグラントハイツ内の学校に通っていた、とある。朝、子どもをスクールバスに乗せた後、婦人たちは優雅な社交を楽しんだ様子が描かれている。『ワシントンハイツ』も同じく在日米軍施設だつた。九二・四ヘクタール(=92,400平米)にも及ぶ広大な跡地には、代々木公園、国立代々木競技場、オリンピック記念青少年総合センター、NHK放送センターがある。

さて、グラントとはアメリカ合衆国第十八代大統領のユリシーズ・シンプソン・グラント氏のこと。彼は任期終了後に世界各国を旅し、一八七九(明治十二)年、国賓として日本にも来ている。浜離宮に滞在、明治天皇と会見し、増上寺や上野公園で植樹もした。日光東照宮を訪れた際には、天皇しか渡ることのできなかつた橋を特別に渡ることを許されたものの、これを恐れ多いと固辞した。その美德が当時の日本国民から高く評価されたそうだ。

(中落合在住 馬場 尚子)



『練馬を往く』練馬区教育委員会 発行
10 「光が丘、今昔 より

馬)にあつたグラントハイツ内の学校に通つていた、とある。朝、子どもをスクールバスに乗せた後、婦人たちは優雅な社交を楽しんだ様子が描かれている。『ワシントンハイツ』も同じく在日米軍施設だつた。九二・四ヘクタール(=92,400平米)にも及ぶ広大な跡地には、代々木公園、国立代々木競技場、オリンピック記念青少年総合センター、NHK放送センターがある。

さて、グラントとはアメリカ合衆国第十八代大統領のユリシーズ・シンプソン・グラント氏のこと。彼は任期終了後に世界各国を旅し、一八七九(明治十二)年、国賓として日本にも来ている。浜離宮に滞在、明治天皇と会見し、増上寺や上野公園で植樹もした。日光東照宮を訪れた際には、天皇しか渡ることのできなかつた橋を特別に渡ることを許されたものの、これを恐れ多いと固辞した。その美德が当時の日本国民から高く評価されたそうだ。



ここ数年来、
セミの鳴き声が
めつきり減った。
以前は七月か
ら八月にかけ
て、さらには九
月に入つても朝から夕方までうるさ
いくらいに鳴いていたものだ。

最近は、七月も半ば頃になつて、
ようやく鳴き声が聞かれる程度であ
る。それも一度にせいぜい一、二匹。

木が少なくなつたからか、土の地面
が少なくなつたからか。

鳴き声から推察すると、セミの種類も以前と違つて、昔は全体の八割がアブラゼミ、残りがヒグラシ(カナカラゼミ)とツクツクホウシであった。カナカラゼミや、ツクツクホウシは機敏で、なかなか捕まえられなかつたが、アブラゼミは動作が鈍く、わりに簡単に捕獲できた。セミは木にとまって鳴いている間は、まず逃げない。私の家の庭にも大きい梧桐の木が数本あり、何メートルか登つて素手でセミを捕まえた。人が木に登つてくる気配を感じるとセミは警戒して鳴きやむ。こちらも動きを止めて静止する。安心したセミはまた鳴き出す、という次第である。

トンボも減つた、オニヤンマ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、ムギワラトンボ、アカトンボなど、種類は同じだが、飛んでいる期間が非常に短くなつた。昭和二十年代後半から三十年代にかけて、子どもたちは竹垣などにとまつて、いるトンボに近づき、トンボの目の前で人差し指をぐるぐる廻して捕まえていた。「目の前で指を廻されたトンボは目が廻つて飛べなくなる」。科学的に正しいかどうかは別にして純真な子どもたちはそれ

を信じていた。

夕方になると、オニヤンマが餌を求めて地上五メートルくらいのところを行きつ戻りつ、飛び始める。扇風機であつたから夜の九時、十時までガラス戸は開けたままであつた。時々、部屋の電灯に誘われて、カナブンが飛び込んできた。カナブンは籠に入れて飼うほど値打ちはない。部屋の中を飛び廻つてうるさいだけなので、捕まえて外に放す。

一度だけ虫が迷い込んで蚊帳に止まつて光つていてのを覚えていながら、ホタルの発生するような場所はなく、どこかの飼いホタルが籠から逃げ出したのか。コウモリは数年前まで見たことがある。夏の夕方、薄暗くなる頃、四~五匹で餌を求めて飛び廻つていた。昼間はどこにいたのである。そのコウモリも今はいなくなつてしまつた。

(西落合在住)
つづく

しかし、このブロンズの猫像は残念ながら戦時供出でなくなり、また寄進した猫コレクションも戦災で消失した。

しかし、このブロンズの猫像は残念ながら戦時供出でなくなり、また寄進した猫コレクションも戦災で消失した。

しかし、このブロンズの猫像は

残念ながら戦時供出でなくなり、

また寄進した猫コレクションも戦

災で消失した。

しかし、このブロンズの猫像は

残念ながら戦時供出でなくなり、

また寄進した猫コレク

新任の副校長先生紹介



副校長 宇野 賴子

みなさまへの挨拶

主幹教諭として着任して三年間。家庭

科の学習・担任・部活動・委員会指導等、

生徒と思い切り関わり、最後の卒業生を送

り出した思いの深い本校に、立場を変えて

再着任させていただき、大変嬉しく思っています。

今年は入学式に合わせて校門の桜が見事に開花しました。整然として集中した姿で臨む全校朝礼の様子。放課後の校庭や体育館等での活気ある部活動の様子とは好対照でありながら、双方とも目的意識をもつた主体的な学びを生徒が獲得してきていることを実感します。授業でも直接生徒を指導する機会が多くなり淋しい思いもありますが、いつも学校を応援してくださっている保護者・地域の皆様とのパイプを太くすることで、心機一転、別の角度から精一杯よりよい学校づくりに励んでいきたいです。どうぞよろしくお願ひします。

落合第六小

五月二十七日(土)、「紅白ともにつかみとれ!光り輝く勝利のトロフィー」のスローガンのもと、運動会が開催されました。演技では一年生が「みんなでOLE!!」、二年生が「落三島唄」を、音楽に合わせて元気いっぱいに踊りました。三・四年生は合同で、両手に扇子を持ち笛の音に合わせて「落三はねこ」を楽しく踊りました。五年生の「落三ソーラン2017」では黒の法被姿で威勢の良い踊りを披露しました。六年生の組体操では、音楽に乗せてみんなで息を合わせて次々に技を繰り出し、安全性により配慮しながらも見せ場が盛り沢山の内容でした。

競技では、各学年とも短距離走・紅白リレーで力いっぱいの走りを見せてくれました。騎馬戦では単に激しくぶつかり合うだけでなく、大将をいかに守るか作戦を考えた様子がうかがえ、さすが高学年と感心しました。大玉おくりは全学年が協力しあい、低学年から高学年へと大玉が送られていましたが、勝敗が明らかになつても諦めることなく紅白両チームとも最後まで大玉を運びました。

全力で運動会を頑張った子どもたちの笑顔は清々しく、この一日の思い出は子どもたちのこれから的人生をきっと支えていくことでしょう。子どもたちの成長を微笑ましく思うとともに、先生方や地域の方々の支えに改めて感謝いたしました。

落合第五小

「ドキドキするけど楽しみだなあ。」という声が大多数の中、「練習不足じゃないか、ちょっと心配…。」という声がちらほら。運動会直前におたふく風邪が校内で流行し心配は尽きませんでしたが、五月二十七日(土)無事に開催することができました。「空前絶後の運動会」あきらめないで頑張ろう イエーイ! のスローガンのもと、1・2年生は、映画「ジャングルブック」の挿入歌にのせてのリズムダンス。今年は十七年ぶりに二クラスになった一年生を二年生が引っ張ってくれました。可愛らしさも迫力も倍増のダンスでした。三・四年生は伝統の「落五ソーラン」。お揃いの法被で舞う姿は凛々しく、「どっこいしょ、どっこいしょー!」と響く掛け声に合わせて保護者も拍手喝采。



1・2年生ダンス

そして五・六年生の児童は大忙し! 星野源さんの「恋」を入場行進曲にしてマーチングに始まり、個々の競技に加えて応援や係活動、低学年のお世話と大活躍でした。特に騎馬戦は、大将を中心に行進が崩れないよう作戦を練って迫力のある戦いぶりを見せました。最後の高学年リレーは波乱含み、勝利の行方が気になる状況に拍車をかけましたが、赤組にも健闘を称える拍手が送られました。

炎天下での運動会は、太陽に負けないくらいまぶしい笑顔にあふれた一日でした。子どもたちをご指導してくださった先生方、温かく見守つてくださった地域の方々にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



動

3・4年生 落五ソーラン



3・4年生の紅白リレー



5・6年生の騎馬戦「落三春の陣」

会

「いいねえ、この風情。」「今日の見学地の中で銀閣寺が一番好きです。」「この良さがわかる年になつたんだね。」「ええ、わかります。」雨に濡れ、新緑の鮮やかさが際立つ中にたたずむ銀閣寺を見ながら、私は生徒とこんな会話を交わしました。

二年生の頃から準備と学習を重ねてきた修学旅行。今回は、三年間とも班行動という形をとりました。一日目奈良、二日目は京都を散策、三日目はタクシーで京都を巡りました。ですから全員が顔を合わせるのは宿舎など限られた時間だけでしたが、皆、心からこの旅行を楽しんでいます。迷つたり、足が痛くなるまで歩いたり、と苦勞もあつたでしょうが、だからこそやっと自分たちの力でたどり着いたその場所が心に沁みるものとなつたのではないか。

東京駅での出発式、京都駅での歓迎セレモニーなど、三年生の行動を応援するかのような行事もこの旅行に花を添えました。一人一人の心に美しく楽しい思い出が刻まれた奈良・京都の旅。三年生のこれからを歩む力の一つになつて欲しいと願うばかりです。

田中博子(三年学年主任)



京都駅での歓迎セレモニー

北野天満宮にて

薬師寺にて

落合第六小

五月二十七日(土)、前日の雨が明け方まで残り開催が心配されました。競技が始まる頃にはまあいい程の日差しの中、第5十九回運動会が開催されました。

今年のスローガンは「心に残る紅白戦! いざ勝負!」新しく迎えた一年生もこの二ヶ月の間に心身共に成長し、力強い入場行進を見せてくれました。

一年生は「落六忍者S.A.S.U.K.E.」を元気いっぱいに踊り、三・四年生は藍染の衣装を風になびかせ見事な「よつちよれそーらんkids チーム落六」を披露しました。五・六年生の「組体操・The Final」さすが高学年!と思わせる仕上がりに観覧席から大きな拍手が送られました。

児童数が少ない小学校ではありますが、皆で協力し、声掛けあつて練習してきた成果が自信となつて子どもたちの笑顔に表れていると感じました。

最後に子どもたちを支え、見守つてくださいがどうございました。

今年のスローガンは「心に残る紅白戦! いざ勝負!」新しく迎えた一年生もこの二ヶ月の間に心身共に成長し、力強い入場行進を見せてくれました。

今年のスローガンは「心に残る紅白戦! いざ勝負!」新しく迎えた一年生もこの二ヶ月の間に心身共に成長し、力強い入場行進を見せてくれました。

児童数が少ない小学校ではありますが、皆で協力し、声掛けあつて練習してきた成果が自信となつて子どもたちの笑顔に表れていると感じました。

最後に子どもたちを支え、見守つてくださいがどうございました。



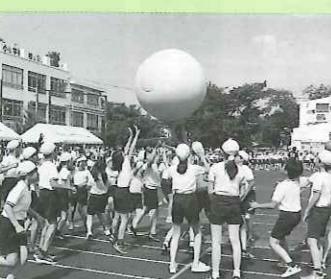
1・2年生 落六忍者



3・4年生 ソーランkids



5・6年生 組体操



大玉送り



入場行進マーチング

落合第三中

五月二十七日(土)、「紅白ともにつかみとれ!光り輝く勝利のトロフィー」のスローガンのもと、運動会が開催されました。演技では一年生が「みんなでOLE!!」、二年生が「落三島唄」を、音楽に合わせて元気いっぱいに踊りました。三・四年生は合同で、両手に扇子を持ち笛の音に合わせて「落三はねこ」を楽しく踊りました。五年生の「落三ソーラン2017」では黒の法被姿で威勢の良い踊りを披露しました。六年生の組体操では、音楽に乗せてみんなで息を合わせて次々に技を繰り出し、安全性により配慮しながらも見せ場が盛り沢山の内容でした。

競技では、各学年とも短距離走・紅白リレーで力いっぱいの走りを見せてくれました。騎馬戦では単に激しくぶつかり合うだけでなく、大将をいかに守るか作戦を考えた様子がうかがえ、さすが高学年と感心しました。大玉おくりは全学年が協力しあい、低学年から高学年へと大玉が送られていましたが、勝敗が明らかになつても諦めることなく紅白両チームとも最後まで大玉を運びました。

全力で運動会を頑張った子どもたちの笑顔は清々しく、この一日の思い出は子どもたちの成長を微笑ましく思うとともに、先生方や地域の方々の支えに改めて感謝いたしました。

競技では、各学年とも短距離走・紅白リレーで力いっぱいの走りを見せてくれました。騎馬戦では単に激しくぶつかり合うだけでなく、大将をいかに守るか作戦を考えた様子がうかがえ、さすが高学年と感心しました。大玉おくりは全学年

が協力しあい、低学年から高学年へと大玉が送られていましたが、勝敗が明らかになつても諦めることなく紅白両チームとも最後まで大玉を運びました。

全力で運動会を頑張った子どもたちの笑顔は清々しく、この一日の思い出は子どもたちの成長を微笑ましく思うとともに、先生方や地域の方々の支えに改めて感謝いたしました。

競技では、各学年とも短距離走・紅白リレーで力いっぱいの走りを見せてくれました。騎馬戦では単に激しくぶつかり合うだけでなく、大将をいかに守るか作戦を考えた様子がうかがえ、さすが高学年と感心しました。大玉おくりは全学年

が協力しあい、低学年から高学年へと大玉が送られていましたが、勝敗が明らかになつても諦めることなく紅白両チーム

★今年もみんなでコミニスポート!
コミュニティスポーツ地区大会

申込書は落二特別出張所で九月から配布予定

【日程】十月十五日(日)
【会場】落合第五小学校
【種目】輪投げ・ビーチ
ボール・パン食い競走等
【申込】九月上旬から落
合第二特別出張所で申込
書を配布する予定です。



西落合町会 岩寄光雄会長



落二地区的町会長がリレーでご挨拶③
皆様には日頃より西落合町会の活動にご支援とご協力を頂き有難うございます。

第十八回 夏休み 目白学園遺跡フェスタ
—ふれて・歩いて体感 まちの遺跡—
【日時】七月二十二日(土)午前十一時～午後四時
【会場】目白学園(正門より入場)
【内容】縄文クッキー・土器づくり・編布づくり・まが玉づくり・触れる遺跡展示コーナー・縄文染あそび・火おこし体験・プラおちあい(正門集合午後三時三十分出発)
【問合せ】目白大学地域連携・研究推進センター
電話 (5996) 3121

区長と話そう「しんじゅくトーク」



区長が区民の皆さんと直接、意見を交換する「しんじゅくトーク」を開催します。参加を希望される方は当日直接、会場へお越しください。手話通訳つき。託児を希望される方は、区政情報課広聴係電話(527-34065)へお申込みください。

●日時(予定)：九月一日(金)
午後七時から
(多目的ホール)

地域の素敵な写真を撮つて写真展に		
ごあいさつ		
落合第一特別出張所所長	遠藤剛	来年三月頃、落合第一地区協議会は恒例の「素敵なまちの写真展」を開催する予定です。一年を通して地域の素敵な風景をカメラにおさめておいてください。
四月一日付で五年ぶりに所長として戻つてまいりました。この町で皆様と一緒に活動できることをとても感謝しております。	区役所は、区民のお役に立つ所です。微力ではございますが、皆様のために全力で課題解決に取り組みますので、職員共々どうぞよろしくお願い申上げます。	募集は来年二月頃の予定です。
ごあいさつ	落合第一特別出張所所長	
遠藤剛		
このページに関するお問い合わせは…		
落合第二特別出張所 電話:3951-9177 ファックス:3952-3183	8	